



Fukagawa Rotary Club

RI第2510地区第1グループ

深川ロータリークラブ



例会プログラム

ロータリー情報

11月30日

 (火)

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

担当：RC情報・雑誌・広報委員会

No2941 第12回例会



2510地区国際奉仕VTT委員会 西谷英樹様

前例会長報告

宮澤孝司会長

2940回、例会を始めさせていただきます。はじめに、本日の例会プログラムは国際奉仕委員会担当となっており、地区委員会よりお越しいただいておりますので、ご紹介させていただきます。国際奉仕・VTT委員会委員、留萌RC 西谷英樹様でございます。西谷様には、後ほど地区委員会活動についてお話を頂きます。

先週の理事会の報告ですが、ハガキでも連絡しておりますが、30日の夜間例会から酒類の提供をいたします、ラ・カンパーニュホテル深川さんの感染対応の下で行います。皆様のご理解ご協力をお願いします。

また、親睦活動委員会の担当になりますが、12月14日クリスマス家族会を予定しておりますので、詳しくは親睦活動委員会からとし、会長報告とします。

例会案内

例会案内「11月～12月」

- 11月30日(火) ロータリー情報(夜間)
- 12月7日(火) クラブ奉仕委員会担当
- 12月14日(火) クリスマス家族会
- 12月21日(火) 上半期中間報告

出席報告

11月16日例会

総会員数 34名(出席免除者1名中0名出席)
 欠席者数 8名 石川 遠藤 木村 菅原 轡田
 津田 林 宮岸 各会員
 出席率 75.76%
 前回メーキャップ 0名
 前回修正出席率 78.79%

前例会幹事報告

森 幹事

■米山奨学会より長谷川P会長(第2回)、佐藤エレクト(第1回)に対し感謝状の送付

スマイルBOX

累計額 ¥234,300

西谷英樹様 卓話に際し
成田国奉委員長 例会担当に際し



長谷川P会長 第2回マルチプル
佐藤会長エレクト 第1回米山功労者

2510地区国際奉仕VTT委員会事業

国際奉仕 人道支援事業 について



2021.11.16 西谷 英樹

コロナ・教育支援用レスキューバック



地区国際奉仕 V T T 委員会 留萌 R C の西谷と申します。成田国際奉仕委員長よりオファーがございまして本日お招きいただきましては、皆様には地区国際奉仕活動に關しまして、ご理解いただいているものと思っております。今回は V T T の部分を特に重点的に話したいと思っております。各クラブが申請していただいき、地区財団委員会と共に取り組んだ事業について動画をまとめております。最初に 2019 年 1 月末に行われた検証ツアーで撮影した動画をご覧いただけます。まず財団のグローバル補助金ですが、タイ東北部の貧困地域で学校や家庭で飲み水やきれいな水を手に入れることができ、ない子供たちが多くいます。そこで水設備のないブンカン県という所の学校に装置を設置いたしました。村の文化を生かして、子供たちに安全な水を供給する持続可能な事業を実現するため各集落の特色を生かしたりサイクル石鹸を作成し 30 円程度で販売してあります。対象校は 8 校ですが、これにより多くの学校の事業を持続可能にしています。2019 年 8 月に 45976 ドルのグローバル補助金が承認され、2020 年 1 月から事業がスタートし、昨年度の国際奉仕検証ツアーの際に事業開始となりましたがこの度完了となりました。今後もの事業の効果が広がり、持続可能で地域に大きな変化を与えるものと考えています。さらにこの事業はロータリーシヨークースに投稿されておりました事業が説明されており、深川ロータリークラブの名前も掲載されております。続きまして基本的な教育と識字率向上に関するグローバル補助金事業です。当地ではタイ 3340 地区と共にベトナムでのグローバル補助金事業の実施に挑戦し、承認を受けております。農村地域の一人当たりの収入が最も低い

地域で行われました。遠隔地の学校では都市部の学校のような最新の技術や教育システムが整備されておりません。教師の収入も教育に関する知識も乏しく、新しい技術での教育環境がない状況です。現地の学生及び教師の基礎教育と識字率の向上のため、早急に教育環境を改善する必要があります。このプロジェクトはデジタル学習を広範囲で提供し、5000 人の子供たちの教育に大きな効果を生み改善を図るのが目的です。新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着きまじらた、間もなく近隣諸国の若い力を借りて本格的に事業を再開する予定です。ロータリーの重点分野に環境の保全が加わりました。こちらは 2019 年から 2020 年度の地区国際奉仕 V T T 委員会としての地区補助金による環境保全緑化事業です。この事業ではゴミの分別と緑化により、ごみの散乱している光景がなくなり、ごみの散乱している光景が 6 時間、所で生徒数 160 人、村の世帯数 214 世帯、主な稼業は漁業という地域で実施しております。

国際奉仕で水事業からスタートして、図書館事業、小型のダムの実業など水に重点を置いて今まで活動をしてまいりました。その中で V T T 委員会を作った経緯ですが、タイの国王が親と一緒に暮らせない子供たちをロイヤルキングススクールといふ所で住みながら教育を受けることができる学校を設立しました。その中で学校を卒業した後で、手につけていないと貧困状態は変わらないという観点から、ミシンを寄贈し裁縫の技術を付けていただく。また床屋さんの先生や、ロイトン札幌の総料理長が行っていた、ロイヤルツの技術を身に付けていただくというよいことだから V T T 委員会で火事が多発しています。またこの地域で訓練もしておらず、被害が多発しております。これは昨年度の国際奉仕人道支援事業に多くのクラブから申請があり、深川ロータリークラブの名前もあり、皆様の寄付はちゃんとこういう所で使われています。

この地域の国では壁がありません。雨期になると雨で浸水してしまいます。またコロナでのオンライン授業でスクリーンを付けていただくための壁を造るといいうことが必要でございます。これらの事業は次の検証ツアーで紹介ができると思いますので、深川ロータリークラブの皆様にもご支援をいただきたいと思います。

この度ロイヤルキングススクールでの新型コロナウィルスの感染が深刻化し、先生、生徒 400 人以上が感染し、隔離入院しており、困窮している状態となっております。その中でいくつかのクラブから支援があり、その中で新しいコロナウィルスの緊急支援基金ということになりました。ロッキタダウンの中で向いて支援を渡すことは出来ませんでした。自治体を通して支援物資が届けられましたが、また災害用のダンボールベットも現地制作して送っていただきました。レスキューバックの制作、教育書・衛生用品・非常食・常備薬などの袋詰めも、職業訓練生やタイの学生だけではなく、ベトナムやラオスの学生も一緒に実施していただきました。それらの支援に対して現地のテレビ局が取り上げております。職業訓練のグローバル補助金事業の実施から 7 年が経っており、事業は大きく成長し、訓練生のスキルも向上、持続可能な事業として大きく広がりを持っています。この学生たちに代わり皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。

深川 R C 会長 宮沢 孝司 会長 エレクト 佐藤 幸治 副会長 圓淨 貴之
幹事 森 隆江 副幹事 佐々木 弘有 会計 長澤 勤



例会会場 ラ・カンパーニュホテル深川 ■例会日 毎週火曜日
事務局 〒074-0004 深川市 4 条 9 番 ■姉妹クラブ 南海 R C (韓国)
プラザ深川 3 F Tel (0164) 34-6228 ■第 2510 地区第 1 グループ
■ URL H <http://mypage.fukanavi.com/rotary/> ■ Mail fukagawa-RC@club502.jp